

# 標十五句

松岡隆子選

綿虫を見ても用事忘れけり  
 揺るる木の下を歩けば冬めきぬ  
 掠れ字の終の原稿神の旅  
 さやけしや椅子に坐つてゐるだけで  
 大樟は鳥の峙よ星冴ゆる  
 細りたる二の腕撫づるすき間風  
 先生が席立ち上がる冬の虹  
 また鳥を容れて夕日の大冬木  
 菰巻かれ松は齢を温むる  
 冬の蝶伐採の木を離れざる  
 夜寒さの枕の位置が定まらぬ  
 枯葉舞ふ只中にて寧らけし  
 大きな噓亡夫かと思ひふり返る  
 柚子は黄に日暮は物の見えにくく  
 ゲゲゲ忌の妙に大きな石路の花

川上昌子  
 唐木和世  
 廣瀬ハツミ  
 生方ふよう  
 渡辺あつ子  
 佐藤郭子  
 平沢千恵子  
 高橋愛子  
 広渡詩乃  
 室井千鶴子  
 宮崎美智子  
 醍醐喜美枝  
 松浦いね子  
 町田洋子  
 梶浦道成